

Mémoires 2020

第80回皐月賞(GI)優勝馬コントレイル



皐月賞

偉業への道はここから



▲後方から進出したコントレイル(帽色・白・右)は、4コーナーでは前に迫る。

無敗の2歳GI馬対決を制したのは「ディープの忘れ形見」だった。

戦前の構図は「三強」だった。1番人気のコントレイルは前年夏に死んだディープインパクトの仔で、新馬戦、2歳レコードで圧勝した東京スポーツ杯2歳ステークスに続く3連勝でホープフルステークスを制覇。その走りは「ディープの最高傑作」の呼び声も高く、JRA賞最優秀2歳牡馬に選ばれていた。



▲父に続いて無敗で二冠目を獲得したサリオス。

2番人気は同じくディープインパクト産駒のサトノフラッグだった。新馬戦は敗れたが、その後は3連勝で弥生賞ディープインパクト記念を勝利。武豊騎手を背に15年前の父を思わせる勝ちっぷりを見せたのだから、注目されないわけがなかった。

そして差のない3番人気は、ハーツクライ産駒のサリオスだった。こちらは新馬戦、サウジアラビアロイヤルカップに続き朝日杯フューチャリティステークスを制覇。コントレイルと同様、3連勝で無敗のGI馬となっていた。

ゲートが開くと、サリオスはスムーズに先行集団の内を確保。サトノフラッグも中団の外を追走し、弥生賞と同様、外から早めに上昇を開始する。いずれも自分の形に持ち込んだ2頭に対し、コントレイルは最内の1番枠も響き、後方まで位置を下げてしまう。矢作芳人調教師と相談し、前へ行く作戦を立てていたという福永祐一騎手も「ちょっと想定外のレースになりました」と振り返る展開となったが、しかし、そこからが圧巻だった。

3コーナー手前で外に出されたコントレイルは、サトノフラッグを追うように猛然とスパート。あっという間に前に迫ると、直線入口では大外から先行集団に並びかける。そのままの勢いでサトノフラッグを交わして先頭に立ったコントレイルに馬体を併せてきたのは、内から抜け出したサリオスだった。

無敗馬同士の意地がぶつかり合う。残り150mからは後続を離してのマッチレースとなるが、コントレイルが最後まで譲らず半馬身差でゴール。無敗の皐月賞馬は史上18頭目、前走から中112日での勝利は皐月賞史上最長間隔。史上に残る激戦を制したディープインパクトの仔コントレイルが、父に次ぐ無敗の三冠制覇という偉業へ、第一歩を踏み出した。

第80回皐月賞(GI)

4/19 中山競馬場 2000m(芝・右) 晴・稍重 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	コントレイル	牡3	57	福永 祐一	矢作 芳人	2:00.7	①	12 12 12 7
2	サリオス	牡3	57	D.レーン	堀 宣行	1/2	③	4 5 6 4
3	ガロアクリーク	牡3	57	ヒューットソ	上原 博之	3 1/2	⑧	11 11 10 9
4	ウインカーネリアン	牡3	57	田辺 裕信	鹿戸 雄一	1 1/4	⑦	2 2 2 2
5	サトノフラッグ	牡3	57	C.ルメール	国枝 栄	1 1/4	②	9 9 6 4
6	ダーリントンホール	牡3	57	M.デムーロ	木村 哲也	クビ	⑥	14 14 12 13
7	コルテジア	牡3	57	松山 弘平	鈴木 孝志	1/2	⑬	10 10 12 12
8	ヴェルトライゼンデ	牡3	57	池添 謙一	池江 泰寿	ハナ	④	7 7 8 9
9	ブラックホール	牡3	57	石川裕紀人	相沢 郁	1 1/4	⑫	17 18 18 17
10	ディープボンド	牡3	57	横山 典弘	大久保龍志	アタマ	⑩	4 4 4 4
11	レクセランズ	牡3	57	北村 友一	池添 学	アタマ	⑨	14 14 15 13
12	アメリカンシード	牡3	57	丸山 元氣	藤岡 健一	クビ	⑭	14 16 16 18
13	マイラソディ	牡3	57	武 豊	友道 康夫	アタマ	⑦	12 12 8 9
14	ビターエンダー	牡3	57	津村 明秀	相沢 郁	1 1/4	⑪	3 3 3 3
15	ラインバック	牡3	57	岩田 康誠	友道 康夫	クビ	⑭	6 5 4 7
16	クリスタルブラック	牡3	57	吉田 豊	高橋 文雅	3/4	⑤	17 16 16 13
17	キメラヴェリテ	牡3	57	藤岡 康太	中竹 和也	クビ	⑩	1 1 1 1
18	テンピン	牡3	57	中井 裕二	安田 隆行	4	⑮	7 7 10 13

単勝 ①270円 複勝 ①140円 ⑦170円 ⑯690円 枠連(1-4)640円
馬連 ①-⑦660円 馬単 ①-⑦1,120円 ワイド ①-⑦330円 ①-⑯2,250円 ⑦-⑯2,610円
3連複 ①-⑦-⑯9,150円 3連単 ①-⑦-⑯26,310円

ハロンタイム 12.2-11.3-12.1-11.8-12.4-12.9-12.2-11.9-11.8-12.1
通過タイム 600m ③35.6-800m ④47.4-1000m ⑤59.8-1200m ⑥1:12.7-1400m ⑦1:24.9-1600m ⑧1:36.8-1800m ⑨1:48.6

優勝馬 コントレイル

2017.4.1生 父ディープインパクト 母ロードクロサイト 母の父Unbridled's Song
新冠・(株)ノースヒルズ生産 馬主:前田晋二氏